

令和5年3月2日

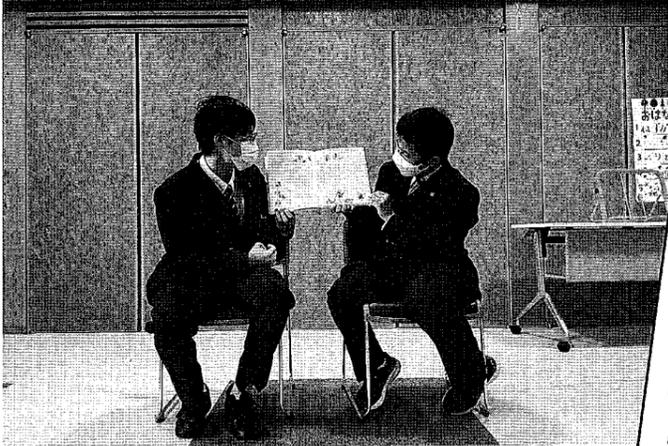
発行：山形県立荒砥高等学校同窓会
事務局：県立荒砥高等学校内
〒992-0831 白鷹町荒砥甲 367
電話：0238-85-2171 Fax：0238-85-2823
URL http://www.arato-h.ed.jp
E-mail：arato@arato-h.ed.jp

山形県立

第61号

荒砥高等学校同窓会報

荒砥高等学校

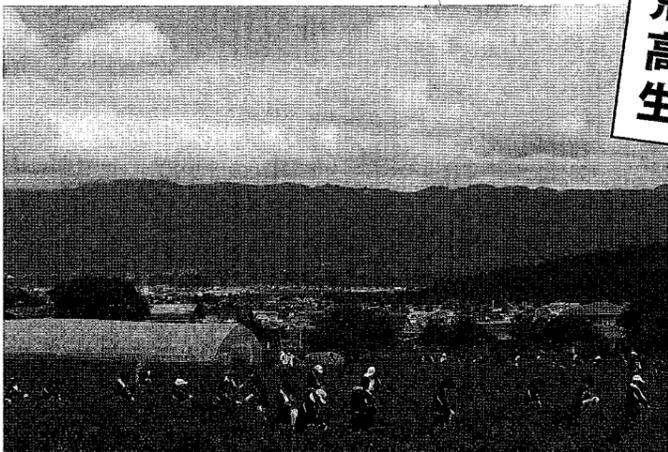


図書委員会 読み聞かせボランティア「おはなしの会」にて2022.11.5

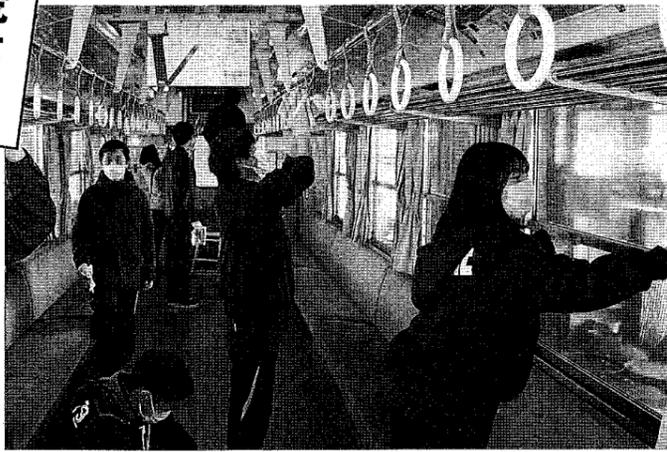
地域で活躍する荒高生



町内のパン屋さんとコラボレーションして「トマトパン」を製造販売 白鷹町産業フェア2022 2022.11.6



紅花摘み 全校生でボランティア(十王) 2022.7.7



フラワー長井線の車両清掃ボランティア 2022.12.17

克己 復禮

同窓生総数 9,393名

洋々たる皆さんの今後のご活躍を祈念いたします
本校で培った実力を遺憾なく発揮し、若々しく、雄々しく、それぞれの分野で成果を上げられるよう期待するものです。



歓迎のあいさつ 同窓会長 青木彰榮

ご卒業おめでとうござい
ます。そして、荒砥高等学
校同窓会への入会を心から歓迎いたします。



囲碁部は今年度、一年生
三人、二年生二人、三年
生三人の計八人で活動し
てきました。二名の外部

囲碁部での三年間

三年 嶽本結月

コーチに指導していただきながら、週四回の部活動に励んできました。
私たち三年生部員は、一年生の始めの頃にコロナが流行り、夏の大会には参加できず、新人戦がデビューでした。初めて他校の生徒と戦い、自分たちの能力の低さを感じました。

とつての最後の大会、全国大会に挑みました。一、二戦目は勝つことができたが三戦目で東京の高校と戦い、敗退しました。悔しさもありましたが、打ち方を勉強できた良い時間だったと思います。そして、何よりも全国大会で二勝できたことは、私たちにとつて

大きな財産となりました。
一年生のときから団体戦メンバーとして一緒に戦ってきた三年生三人の活躍は終わりました。
自称、囲碁ガールズとして活躍した三年間。大切な思い出となりました。

卒業する二十一名の生徒の皆さんの前途を祝福するとともに、それぞれが目指す進路に向かって頑張ってほしい。
〈松野〉

- 「荒高生の活躍」
陸上競技部
県高校新人 男子リレー 青木優翔、佐藤優太出場(合同チーム)
テニス部
地区高校総体 女子シングルス第二位 小関理那(県大会出場)
地区高校新人 女子シングルス第一位 小関理那(県大会出場)
卓球部
全日本卓球選手権地区大会 女子シングルスベスト16
松野きらら(県大会出場)
総合文化部囲碁班
全国囲碁選手権大会山形県大会
女子団体第一位 遠藤蓮華、嶽本結月、河井虹星(全国大会出場)
女子個人第二位 遠藤 蓮華(全国大会出場)
全国高総文祭囲碁大会 遠藤蓮華 出場(県代表チーム)
県高総文祭囲碁部門
高文連賞 打田蓮(東北大会出場)
女子個人三位 安久津春加(東北大会出場)
総合文化部美術班
県高等学校美術展 努力賞 油彩画 佐藤法彦
吹奏楽部
全日本吹奏楽コンクール置賜地区大会高校小編成の部優秀(県大会出場)
全日本吹奏楽コンクール山形県大会 高校小編成の部 銀賞
各種コンクールなど
置賜地区英語弁論大会 高校の部第一位 佐藤優太(県大会出場)

令和4年度卒業生進路状況 令和5年2月1日現在

Table with columns: 進路先, 人数 (男子, 女子, 合計), 割合 (部門毎, 全体), 前年度実績 (人数, 全体%). Rows include 就職 (管内, その他県内, 公務員), 進学 (大学, 短期大学, 専門学校等), and 卒業者数.

令和4年度卒業生同窓会評議員名簿

Table with columns: 地区名, 氏名. Rows: 白鷹東地区 (竹田 典広), 白鷹西地区 (小林くらら), 長井他地区 (嶽本 結月), 関東支部 (土屋 恵吾).



### また新たなステージへ 校長 地主桂子

荒砥高等  
学校同窓会の皆様には、本  
校の教育活動に對しまして  
日頃、多大なるご理解とご  
協力を賜りまして心から感  
謝申し上げます。

今年度、本校は創立74周  
年を迎え、全ての年次が一  
学級の小規模校として新た  
な歩みを始めました。新型  
コロナウイルスの感染対策  
を施しながらの学校運営は  
いまだに続いていますが、  
生徒の活躍の場を一つでも  
多く創出しようとして、今年  
も白鷹町をはじめ地域の皆  
様、後援会や保護者の皆様  
からもご支援をいただきな  
がら、教育活動の一層の充  
実を目指して取り組んで参  
りました。

日ごろの学習はもとよ  
り、資格取得や部活動の各  
種大会・コンクールでの成  
果など、生徒が各自の目ざ  
すところに向かつて熱心に  
取り組まれました。スポーツ  
祭、荒高祭、クラスマツチ  
の荒高三大行事は、生徒会  
を中心に工夫を凝らして大  
成功を収め、今年も保護者

や学校運営協議会の皆様にもその様子をご参観いただきました。1年生の町内産業学習や2年生の就業体験なども、町商工会や各事業所のお力添えのもと内容の充実を図って、各自がキャリア形成に取り組みました。また、修学旅行は三年ぶりに京都、奈良へと、歴史と文化を訪ねる3泊4日の旅を実現することができました。そして現在、3年生は全員が進路希望を実現し、卒業後の生活に思いを巡らせつつ、高校生活の仕上げの時期を迎えています。

令和五年度も、生徒一人ひとりが輝く学校をめざし教職員一同励んで参ります。同窓会の皆様には、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、荒砥高等学校同窓会の益々のご発展と、皆様のご健勝をご祈念いたします。

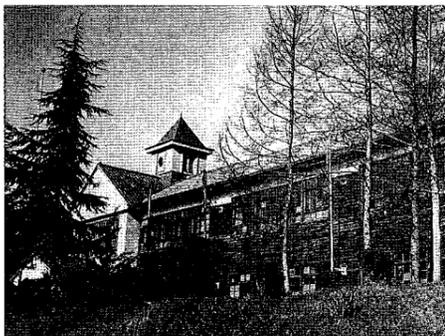


### 同窓会と私

私が荒砥高校に転勤しましたのが、昭和四十年でした。前任である事務の丸川範子さんから、「今度あなたが同窓会の事務局をやるように」と言われ、引き受けたのは良いものの、どうすればよいのか五里霧中でありました。

しばらく経つと荒砥高等学校創立三十周年記念事業が始まり、百万円の寄付の要請を受け、どうすればよいのか迷いました。当時、卒業生が六千人余りでしたが、名簿作成から始めなければならぬ事になり、戸惑いながら手探りでしなればなりませんでした。その時、初めてコンピューターが導入されました。週三回、勤務終わりに民間のコンピューター講習会を受講していたので、そんなにも大変な仕事と思いませんでした。以外に簡単にできたと感じました。

六千名の入力は大変でしたが、それでも寄付金用の名簿を作りあげ、夏休みに入り封書を三々四人の生徒にアルバイトさせながら理



懐かしい木造の旧校舎

### 石山 長吉 (元職員)

科室で発送の準備したこと  
は今でも記憶に残っています。  
寄付金も三百万円ほど  
集まり、要請を受けた金額  
以上を集められたことで安心  
しました。

この際、組織的になんとかしなければと思ひ、関東の卒業生の皆さんにも協力頂きたいと、関東支部の立上げを当時の金子昭一会長に相談しました。そして会長の同級生である新保興四雄さんに会長をお願いして関東支部を立ち上げました。東京に五、六回上京したことや設立総会には金子会長はじめ一〇名ほどの役員とタクシーを頼んで参加したことを思い出します。

### 近況報告

齋藤 天音 (平成三十年卒業・東北芸術工科大学在学)

私は平成三十年度に荒砥高校を卒業しました。友人に誘われ高校から吹奏楽部に入学し、3年間充実した高校生活を送りました。部活で演奏会のポスターデザインを担当し、地域の方々に褒めて頂いた嬉しい経験がありました。自分の得意

### 寄稿 卒業生から

#### 高校時代を振り返って

小松 洸哉 (令和元年度卒業・白鷹町役場勤務)

私が荒砥高校を卒業した年は、新型コロナウイルスが流行する直前の時期だったと記憶しています。その後コロナウイルスの関係で様々な行事が中止になったり、行動が制限されたりと環境が一変し苦労された方も多いと思ひます。最近の感染者は相変わらず多い中、行動制限が解除され以前の生活に戻りつつありますが、油断せず引き続き手洗いがいで感染予防の徹底に取り組みでいきたいところです。さて、私の高校時代の思

い出は生徒会活動です。2年次から生徒会に加入し、3年次には生徒会長も務めさせていただきました。活動の中で学校行事を作り上げていったり、率先して地域の行事に参加して盛り上げたりと役員と協力して行った一つ一つの活動が、私の中でやってきてよかったと思えるものになっています。高校を卒業してすぐ地元で就職した私ですが、その活動で学んだことが今の生活にも活かしていると実感しています。年々生徒数が減少してい



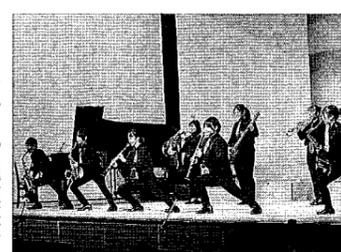
探究課題を発表 (2年次)

### 地域を学び、心を耕す

齋藤 芳昭 (昭和五十二年三月卒業)

桜の季節を迎えると「赤坂の桜」を一目見ようと、自宅前の通称「墓地」(ぼつち)坂あたりがちよつと賑わいを見せる。「置賜さくら回廊」の広告がYouTubeやLINEなどで広く紹介されるようになってから、町の名所「古典桜群」の魅力を求めて、多くの県外ナンバーが目立つようになってきた。柔らかな陽光を浴びて瞬間に咲き誇り、名残惜しそうに舞い散る姿を眺めていると幼い日を思い出し、しみじみとした思いとともに故郷の有難味に気づかされる。町内の小学校を最後にリタイアして四年が過ぎた。教育とは地域の理解と支えなしには成り立たないものだと思ひつつ、ふと荒高生による「たくまバンド」(金管バンド)指導のことを思い出した。創設以来、児童は荒砥高校吹奏楽部の指導によりめきめき上達し、今では地域の行事に招かれるまでの伝統あるバンドに成長した。感謝の一言

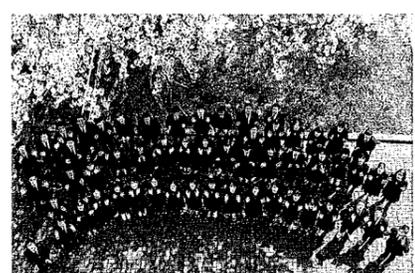
願ひ致し  
見しています。  
若い皆さんにも同窓会の事務局をして頂けるようお願い致します。



吹奏楽部 定期演奏会  
長井市民文化会館



スポーツ祭  
(ダンスを披露)



桜の木の下で (全校生)